
キミと見た奇跡の流星群

きゃらめる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キミと見た奇跡の流星群

【Nコード】

N6946M

【作者名】

きゃらめる

【あらすじ】

そらのまお

空野真央は10年に一度の奇跡の流星群を見たいと思っていた。

その理由は流星群の言い伝えが・・・。

そして真央の好きな人、河坂肇かわさかとしとおもしろ恋。

真央と肇のドタバタ恋物語です！

第一話 ドジ中の幸い

高校１年生の空野真央は只今１０年に一度の奇跡の流星群の情報を集めている。その理由は、奇跡の流星群が流れるとき願いが叶えられる。という言い伝えを知ったからだ。

真央はこのごろ成績がとて落ちてきていた。そして、不幸ながら帰り道に恋バナではしゃぎすぎて靴を一足泥にはまってしまったのだ。

靴を取り出そうとして手を突っ込んだところ手が抜けなくなってしまったのだ。友達我真央を放って先に行ってしまった。不幸だ。一生懸命引つ張るが抜けない・・・。

キキッー 自転車の止まる音がした。

見上げると同級生らしい男子が見ている。

夕焼けのせいで顔が見えない。

「ドジ真央！どうした？？」

聞き覚えのある声・・・。うつすら見える男子のキーホルダー。

真央はハッとした。

河坂肇だ。真央の好きな人でもあり一番親しい友達でもあるやつだ。

「あ、真央。もしか手が抜けなくなってるだろ！」

肇がズバツとあてたとたん真央の顔がボツと赤くなった。

「う・・・うん」

真央がしおしおと返事をした。

好きな人にまぬけな姿を見られるのは苦しいものだ・・・

肇がププツと噴出した後、肇が口を開いた。

「じゃ、がんばって」

肇がピースして自転車をこぎ始めた。

真央が叫んだ。

「と・・・肇！たすけろおおおお！」

真央の顔は真っ赤になった。

肇は5メートル先でとまって、考えたあと戻ってきた。

「じゃあ、今日おごつて！」

真央はギクリとした。

こんな展開になるとは聞いていないぞーと心の中でツツコンだ！

「おごつてくれなきゃ助けないよぉ〜」

肇はニヤニヤしながら真央を見下ろしている。

真央はガツクリしながら決断した。

「よ・・・よし！おごつてあげよう」

肇はニツと笑った。その笑顔がやけにかっこよく感じた真央だった。

肇は腕まくりして回りの泥を除いてくれた。

その顔が真剣だった。真央の胸がキュンとした。

やっと指が抜けた。靴もとれた。

「ありがとう」

真央が照れながら行った。

「どういたしまして。じゃあ約束！マック行こう！」

肇が言った。やっぱりかっこいい・・・

肇が自転車の荷台を指した。

真央は荷台に座った。

長い沈黙が続いた。

「ねえ・・・肇」

真央がつぶやいた。

「ん？」

肇がボソツと言った。

真央は胸に何かが刺さったような気がした。

離れたくない、ずっとこのままがいい。と真央は思っていた。

「・・・なーんにもないっ」

真央は言いたい事がいえなかった。

言おうとした瞬間、声が出なかった。

「ちよっ、言えよ！気になるじゃん。」

肇が口を尖らせてブーブーと言った。

真央はフフツと笑った。

いつのまにか真央は肇の服をしっかりと握っていた。
真っ赤な夕焼けの中に二人の影は消えていった・・・。

続く

第一話 ドジ中の幸い（後書き）

こんにちは&はじめまして！きやらめるデス。

初連載「キミと見た奇跡の流星群」には先輩がいて、私が以前携帯に下書きしていた小説の番外編だったのデス！それがメインよりいいできたので今ここに連載させていただいてます。

第一話はあまり流星群に触れてませんが、第二話はなんと・・・！！
会話も多めです。

あと、面白くなかったらどこが面白くないか教えていただきたいです！

よろしく願います！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6946m/>

キミと見た奇跡の流星群

2010年10月28日00時53分発行